

 **群馬原水協だより**
2015年9月6日 No.24

●県内20万人めざすア
ピール署名76,143人
●首長・議長等署名賛同自治体
25 (69%) 自治体
(8月31日現在)

～核兵器廃絶・被爆者支援 連帯・戦争法案反対～
原水爆禁止群馬県協議会
〒371-0013 前橋市西片貝町2-254-1
電話027-289-4715 FAX027-289-4716

核廃絶へ運動の新たな発展をよびかけた 被爆70年の世界大会 被爆者の思い 語り継いでいきたい

世界大会報告会 高校生の発言に感動、交流広がる

広島と長崎で開かれた被爆70年の世界大会。群馬から、高校生の8人を含む43人が広島へ、20人が長崎へ参加し近年最高でした。送り出した地域や団体みなさんに感謝。
原水協代表理事の滝沢俊治さんは、2日～4日の国際会議

に参加。「熱気ある海外の代表と交流した。NPT 会議の結果を受けて非人道的な核兵器の全面禁止へ、新たなアピール署名を検討しようと、新たな発展があった」と感想を寄せました。県内で報告会が始まり、高校生が大きな感動を与えています。

伊勢崎



伊勢崎平和行進実行委員会が28日、伊勢崎から参加した高校生の広島世界大会報告会を開きました。

緋の郷の会議室には 19 人が参加。3人の高校生が、広島の世界大会で体験や感想を生き生きと報告（写真）。

阿比留ともみさん(高1)は、「中学3年のときから広島に行きたいと思っていた」と語り、3日間の体験を生き生きと報告。「戦争に行きたくない、殺したくない、殺されたくない。友達にも話していきたい」。

広島大会の初日に壇上でスピーチした藤岡あやめさん(高3)は、級友たちを誘ったら7人が行くことになったこと。参加者が手分けをして(原子爆弾、被爆者、資料館、原爆の真実など)テーマを決めて調べて、しおりに作って参加したこと。毎日感想を話し合ったことなどを報告。会場で合唱した『折り鶴』は、子どもの頃からサマーキャンプで親しんできた歌で、涙が出た」など、目頭を押さえて報告しました。

大人の参加者からは、質問や感嘆の声が出されました。「広島で感じて胸に刻んできたものは、これから大人になって伝え続けてほしい。伝え方はいろいろある」と期待を語

ったのは山田郁子さん。「朗読劇『子どもたちの夏』を27年続けてきたが、校長のなかに被爆者の方がいて理解してくれた」。

参加者は、民青同盟の伊藤さんや大賀さんのほかは、50代以上の方が多し。自らの高校生時代や若い頃も振り返りながら、今の学校の自由な雰囲気についてなど熱心に質問し、交流。高校生に遅い時間にならぬよう、午後8時半過ぎに終了。

すばらしい高校生！そして送り出した先輩たちもすごい！

桐生



桐生平和委員会(大木会長)は8月18日、NPT行動と世界大会の報告会を開催。赤川まいさんがNY行動を、3人の高校生らが世界大会を報告。参加者に感動をよびました。

館林実行委員会は、8月28日に母親大会と合同報告会。碑めぐりに参加した田島英子さん(写真)と福田すみれさんの感動報告に拍手です。

館林



前橋



前橋原水協は8月22日の報告会で9人が発言。「原発と核兵器の分科会で良くわかった」など生き生きと報告。新婦人ピースコーラスとの合唱も。

●報告会は今後、利根(9/14)、安中(10/10)、高崎(11/10)で予定。渋川・太田も検討中。
※

広島・長崎で 見て、聞いて、学んだこと、地域・職場・学園で



長崎大会に参加した群馬の代表



広島大会に参加した群馬の代表(広島駅)



広島7-1集会6日

長崎7-1集会9日



被爆者合口榎澤すみれさんの訴え



9月の核署名699行動

- ◎前橋 5日(土) 13時30分 前橋駅前
- ◎伊勢崎 9日(水) 16時 コブ宮子店前
- ◎高崎 9日(水) 13時 スズメシヤから移動

◆26日、14時～15時

核兵器廃絶国際デー 高崎駅前